T&G TAKE and GIVE NEEDS

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ
2013年3月期決算説明資料

本資料は株式会社テイクアンドギヴ・ニーズの2013年3月期の業績及び経営戦略に関する情報の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではございません。

本資料に記載した意見や予測等は、資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証又は約束するものではなく、また今後、予告なしに変更されることがあります。

株式会社テイクアンドギヴ・ニーズ　経営企画部
Tel　03-6833-1172
E-Mail　ir@tgn.co.jp
HP　http://www.tgn.co.jp/company/ir

Ⅰ. 2013年3月期 連結決算概要 P4–17
1. 総括 P5
2. 通期業績計画及び実績 P6
3–1. 連結 損益計算書 P7–13
3–2. 連結 貸借対照表 P14–15
3–3. 連結 キャッシュ・フロー計算書 P16
4. 剰余金の配当について P17

Ⅱ. 153P進捗状況及び2014年3月期 連結業績計画 P18–P23
1. 153P（2015年3月期）最終年度目標数値 P19
2. 2014年3月期の位置づけ P20
3. 2014年3月期 重点施策 P21–24
4. 2014年3月期 業績計画 P25–26

Ⅲ. 2014年3月期配当予想 P27–P30
1. 2014年3月期配当予想について P28
2. 株式分割・単元株制度の採用 P29
3. 自己株式の買取 P30

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I

Results of FY Ending March 2013

2013年3月期 連結決算概要

I 1. 2013年3月期 総括

売上高は過去最高、当期純利益は140%増
上方修正を更に上回り増収増益

T&G直営店の取扱組数は過去最高、単価も好調
取扱組数は前年同期比**4.5**%増、単価は5期ぶりの**400**万円超

海外・リゾートWの売上比率は約10%へ拡大
売上高は、前年同期比**16**%増、**50**億円を超える

ホテル提携が拡大、プロデュース型は増収
売上高は前年同期比**21**%増収

有利子負債の削減が進む
前期末比 約**34**億円削減（(株)ブライズワード関連分除く）

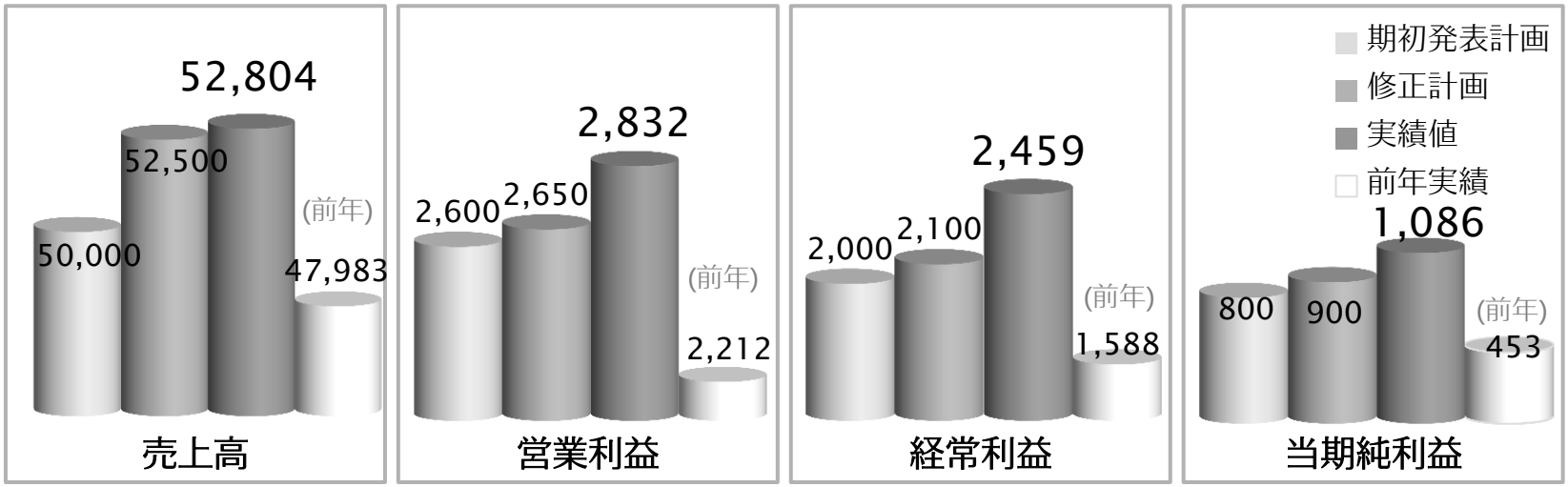
T&G TAKE and GIVE NEEDS

2. 通期業績計画及び実績

T&G直営店が好調に推移し 修正計画を更に上回り着地

2013年3月期 連結業績計画

（単位：百万円）



単位:百万円	(5/11発表) 期初 発表計画	(2/13発表) 修正計画 <A>	実績値 <B>	増減額 <B-A>	(参考) 前年実績	前年増減率 (%)
売上高	50,000	52,500	52,804	+304	47,983	+10.0%
営業利益	2,600	2,650	2,832	+182	2,212	+28.0%
経常利益	2,000	2,100	2,459	+359	1,588	+54.9%
当期純利益	800	900	1,086	+186	453	+139.9%

I 3-1-1. 連結 損益計算書 概要

売上高 過去最高、売上、利益ともに計画を上回る
売上高は前年同期比10%増、営業利益は同28%増

単位: 百万円	2013/3 計画	2013/3 実績	計画比	(参考) 2012/3 実績	(参考) 前年比
売上高	52,500	52,804	+304	47,983	+4,821
売上総利益	28,300 53.9%	28,499 54.0%	+199 +0.1pt	25,801 53.8%	+2,697 +0.2pt
販管費	25,650 48.9%	25,666 48.6%	-16 -0.3pt	23,588 49.2%	+2,077 -0.6pt
営業利益	2,650 5.0%	2,832 5.4%	182 +0.4pt	2,212 4.6%	+620 +0.8pt
経常利益	2,100 4.0%	2,459 4.7%	+359 +0.7pt	1,588 3.3%	+871 +1.4pt
当期純利益	900 1.7%	1,086 2.1%	+186 +0.4pt	453 0.9%	+633 +1.2pt

※ %は売上高比、「2013/3計画」は、2/13発表の修正計画。

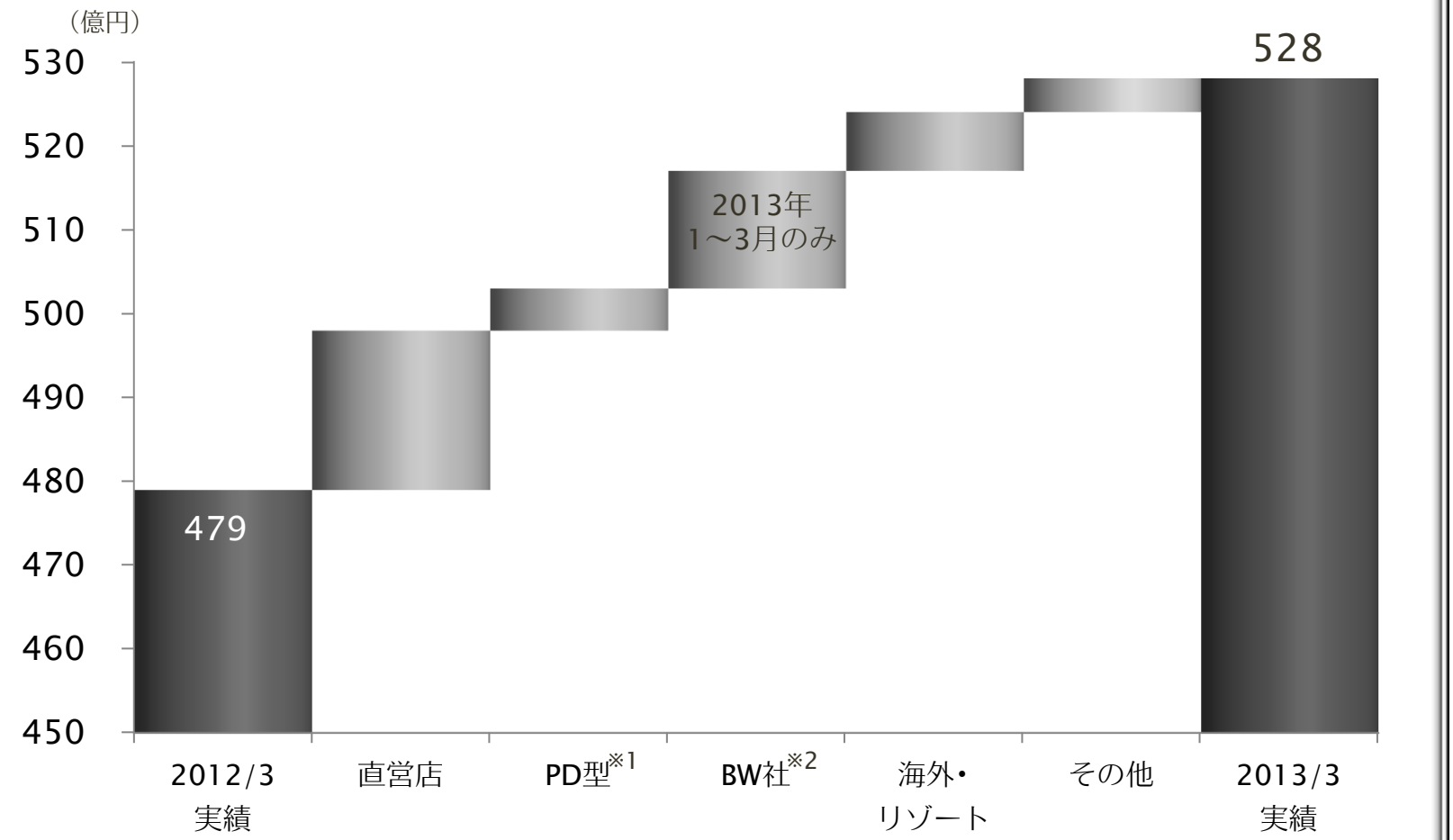
(通期)
売上高・当期純利益推移



前年同期比　売上高10%増
当期純利益140%増

3-1-2. 売上高 主な増加要因

直営店及び成長領域の売上増加に加え (株)ブライズワードの連結子会社化が寄与



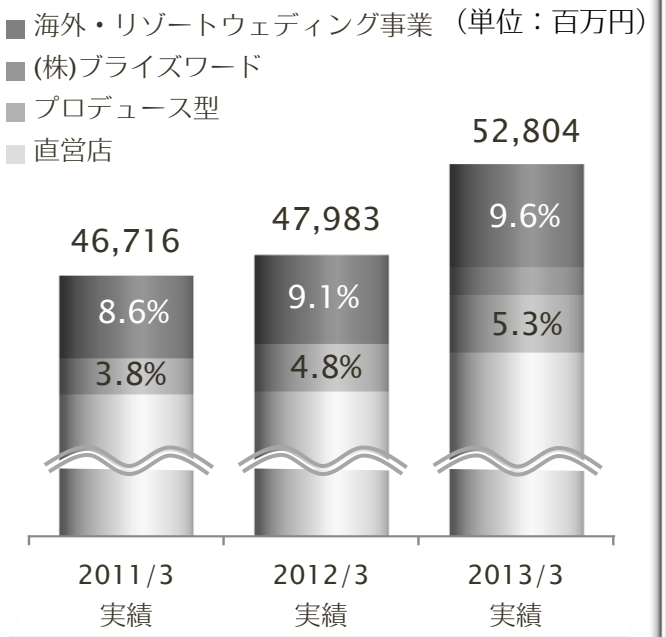
※1　PD：プロデュース　　※2　BW社：（株）ブライズワード

I 3-1-3. 事業セグメント別 売上高・売上構成比

海外売上高比率は約10%へ
中期経営計画目標 同10%超に向け順調に進捗

単位：百万円	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 実績
国内ウェディング事業	41,253 (88.3%)	42,036 (87.6%)	46,138 (87.4%)
直営店	38,915 (83.3%)	39,057 (81.4%)	40,965 (77.6%)
プロデュース型	1,764 (3.8%)	2,304 (4.8%)	2,792 (5.3%)
(株)ブライズワード	—	—	1,361 (2.6%)
その他	573 (1.2%)	674 (1.4%)	1,019 (1.9%)
海外・リゾートウェディング事業	4,014 (8.6%)	4,355 (9.1%)	5,046 (9.6%)
その他	1,448 (3.1%)	1,591 (3.3%)	1,619 (3.1%)
連結売上高	46,716	47,983	52,804

(通期) セグメント別売上構成比推移



成長領域の構成比率拡大が進む
海外・リゾート　8.6% → 9.6%
プロデュース型　3.8% → 5.3%

（※）2011/3　比較

※　%は連結売上高比

T&G TAKE and GIVE NEEDS

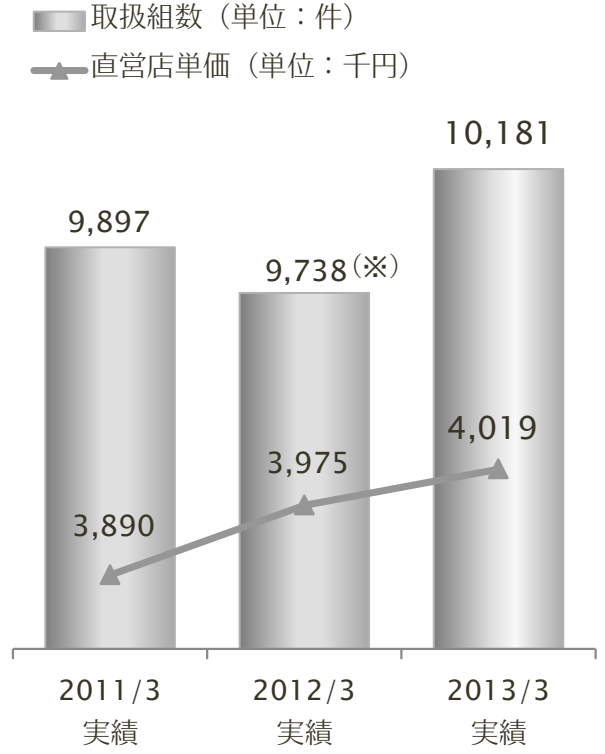
3-1-4. 国内ウェディング事業 内訳

直営店の取扱組数は契約率の向上により過去最高
平均単価は5期ぶりに400万円を超える

単位: 百万円	2013/3 計画	2013/3 実績	計画比	(参考) 2012/3 実績	(参考) 前年比
直営店					
売上高	40,750	40,965	+215	39,057	+1,908
取扱組数	10,165	10,181	+16	9,738	+443
平均単価 (千円)	3,993	4,019	+26	3,975	+44
平均人数	74	74	±0	72	+3
プロデュース型					
売上高	2,760	2,792	+32	2,304	+487
取扱組数	970	978	+8	805	+173
平均単価 (千円)	2,850	2,870	+20	2,844	+26

※ プロデュース型にはホテル婚礼運営受託、レストラン提携、ビル内施設プロデュースを含む。
平均単価は挙式のみの利用や少人数施設を除く。

(通期)
直営店 単価・取扱組数推移



(※) 東日本大震災の影響により減少

T&G TAKE and GIVE NEEDS

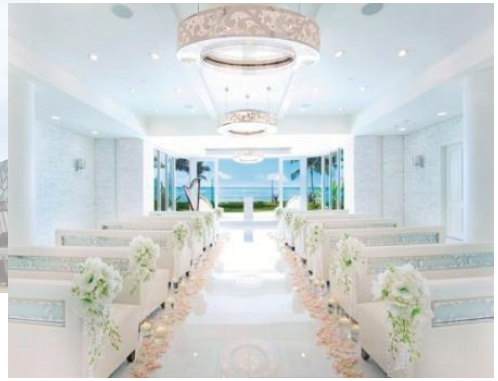
I 3-1-5. 海外・リゾートウェディング事業 内訳

売上高は前年同期比16%の増収、50億円を超える
アジアにおける事業拡大に向けた先行投資を実施

単位: 百万円	2013/3 計画	2013/3 実績	計画比	(参考) 2012/3 実績	(参考) 前年比
売上高	5,040	5,046	+6	4,355	+691
営業利益	250	258	+8	376	-117



ザ・リッツ・カールトン
上海-浦東

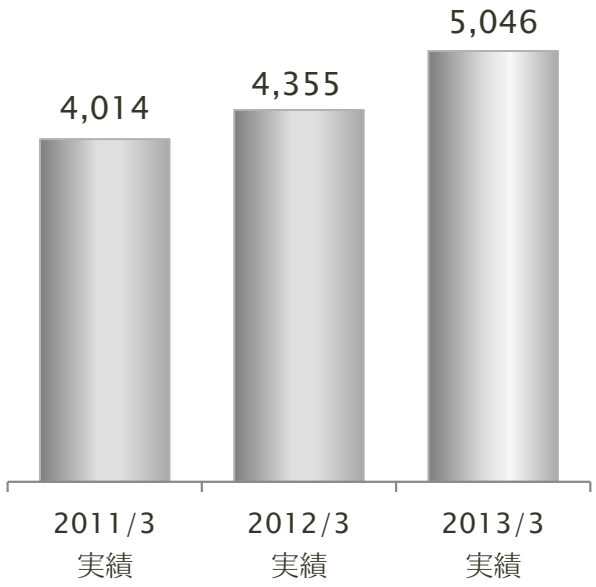


「ザ・モアナチャペル」
ハワイ モアナサーフライダー
ウェスティン リゾート&スパ内

※ 海外・リゾートウェディング事業には、
リゾートウェディング、アジア婚礼プロデュースを含む

(通期) 売上高推移

(単位：百万円)



「ザ・モアナチャペル」が
ハワイでの挙式件数No.1 (※) に

(※) リクルート社「ゼクシィ海外ウエディング調査2012」調べ

T&G TAKE and GIVE NEEDS

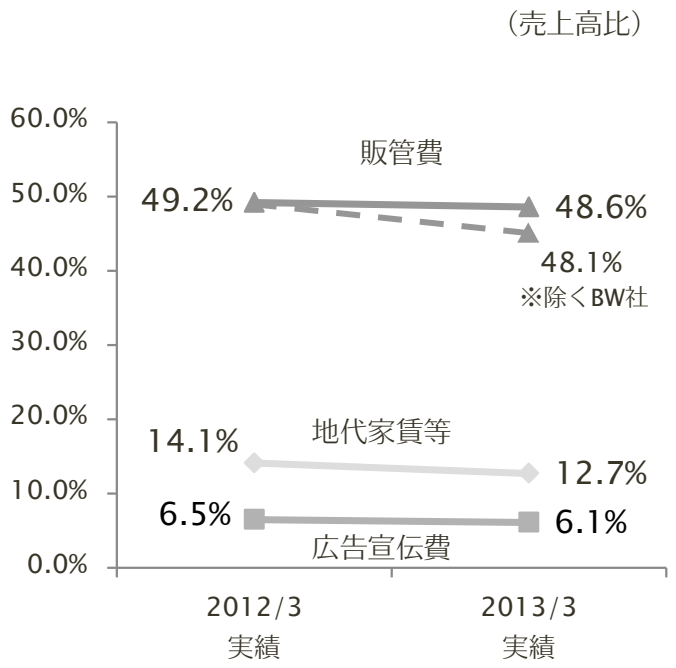
I 3-1-6. 連結 売上総利益・営業利益

売上高の増加に伴い、売上総利益は計画を上回る
販管費率はコストの効率化が進み、前年同期比0.6pt低下

単位:百万円	2013/3 計画	2013/3 実績	計画比	(参考) 2012/3 実績	(参考) 前年比
売上高	52,500	52,804	+304	47,983	+4,821
売上原価	24,200 46.1%	24,305 46.0%	+199 -0.1pt	22,181 46.2%	+2,123 -0.2pt
売上総利益	28,300 53.9%	28,499 54.0%	+199 +0.1pt	25,801 53.8%	+2,697 +0.2pt
販管費	25,650 48.9%	25,666 48.6%	-16 -0.3pt	23,588 49.2%	+2,077 -0.6pt
営業利益	2,650 5.0%	2,832 5.4%	182 +0.4pt	2,212 4.6%	+620 +0.8pt

※ %は売上高比、「2013/3計画」は、2/13発表の修正計画。

(通期) 販管費率等推移



コストの効率化が進む
- 地代家賃等 14.1% → 12.7%
- 広告宣伝費 6.5% → 6.1%

※BW社:(株)ブライズワード

T&G TAKE and GIVE NEEDS

I 3-1-7. 連結 経常利益・当期純利益

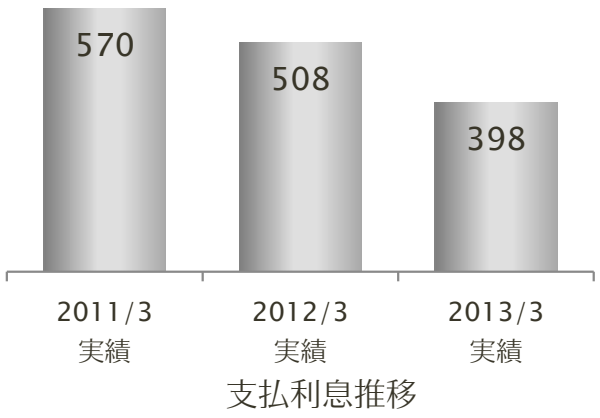
有利子負債の削減等により支払利息減少
経常利益は前年同期比55%増、当期純利益10億円超

単位:百万円	2013/3 計画	2013/3 実績	計画比	(参考) 2012/3 実績	(参考) 前年比
営業利益	2,650	2,832	182	2,212	+620
営業外損益	△550	△373	+176	△624	+251
経常利益	2,100	2,459	+359	1,588	+871
特別損益	△300	△226	+73	△338	+111
当期純利益	900	1,086	+186	453	+633

※ %は売上高比、「2013/3計画」は、2/13発表の修正計画。

主な増減要因

支払利息 398百万円
※前年同期比 −109百万円



T&G TAKE and GIVE NEEDS

3-2-1. 連結 貸借対照表 ＜資産の部＞

BW社※の連結子会社化等により資産が31億円増加
投資その他資産はリース料との相殺等により20億円減

単位:百万円	2012/3末	2013/3末	増減
流動資産	7,779	7,612	−167
現金及び預金	5,035	4,170	−864
固定資産	35,610	38,898	+3,288
有形固定資産	20,803	24,514	+3,711 (※1)
無形固定資産	557	2,191	+1,634 (※2)
投資その他資産	14,249	12,192	−2,057 (※3)
資産計	43,390	46,510	+3,120

※BW社：(株)ブライズワード

その他の主な増減要因

◆有形固定資産の増加（※1）
前期末比　+3,711百万円
（主な要因）
・BW社の連結子会社化

◆無形固定資産の増加（※2）
前期末比　+1,634百万円
（主な要因）
・のれんの増加（BW社他）
・新システム開発によるソフトウェアの増加

◆投資その他資産の減少（※3）
前期末比　−2,057百万円
（主な要因）
・リース物件買取及びリース料と保証金の相殺による敷金及び保証金の減少

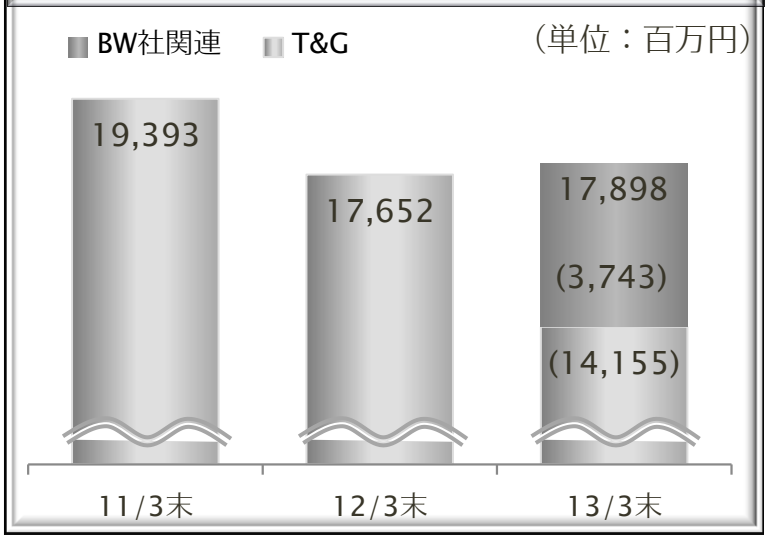
3-2-2. 連結 貸借対照表 ＜負債・純資産の部＞

BW社※の連結子会社化により有利子負債残高は178億円
除くBW社※関連分では、前期末比34億円削減

単位:百万円	2012/3末	2013/3末	増減
負債合計	26,598	28,550	+1,952
流動負債計	15,158	13,270	−1,887
短期借入金	2,140	1,257	−882
(一年内)長期借入金・社債	6,445	3,986	−2,459
固定負債計	11,439	15,279	+3,839
長期借入金・社債	9,066	12,655	+3,588
純資産計	16,792	17,960	+1,168
負債・純資産計	43,390	46,510	+3,120

※BW社：(株)ブライズワード

有利子負債残高推移



有利子負債残高内訳

前期末比
T&G　−34億円
BW社　+37億円
(取得関連費用含む)

3-3. 連結 キャッシュ・フロー計算書

BW社※の連結子会社化やソフトウェア取得等の積極的な投資活動を実施

単位:百万円	2012/3	2013/3
営業活動によるCF	3,687	3,870
投資活動によるCF	△880	△2,197
財務活動によるCF	△1,828	△2,377
現金及び預金残高	4,614	3,939

主な増減要因

投資活動によるCF
（主な要因）
- BW社連結子会社化
- 施設の取得
- ソフトウェアの取得

※ BW社：（株）ブライズワード

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅲ 4. 2013年3月期 剰余金の配当について

期末配当は1株当たり120円を実施予定

	1株当たりの配当金		
	第2四半期末	期末	年間合計
2012/3	0円	100円	100円
2013/3　予定	0円	120円	120円

T&G TAKE and GIVE NEEDS

II

153P Progress and Plans
FY Ending March 2014

153P進捗状況及び
2014年3月期 連結業績計画

※153P：2013/3-2015/3の3ヵ年中期経営計画
（2012年2月3日発表）
詳細はこちらをご覧ください
http://pdf.irpocket.com/C4331/oWM7/VU7I/JVyi.pdf

Ⅱ 1. 153P最終年度（2015年3月期）目標数値

153P初年度は、期初計画を上回り着地
計画達成に向け順調に進捗

■ 定量目標（連結）

（単位：億円）

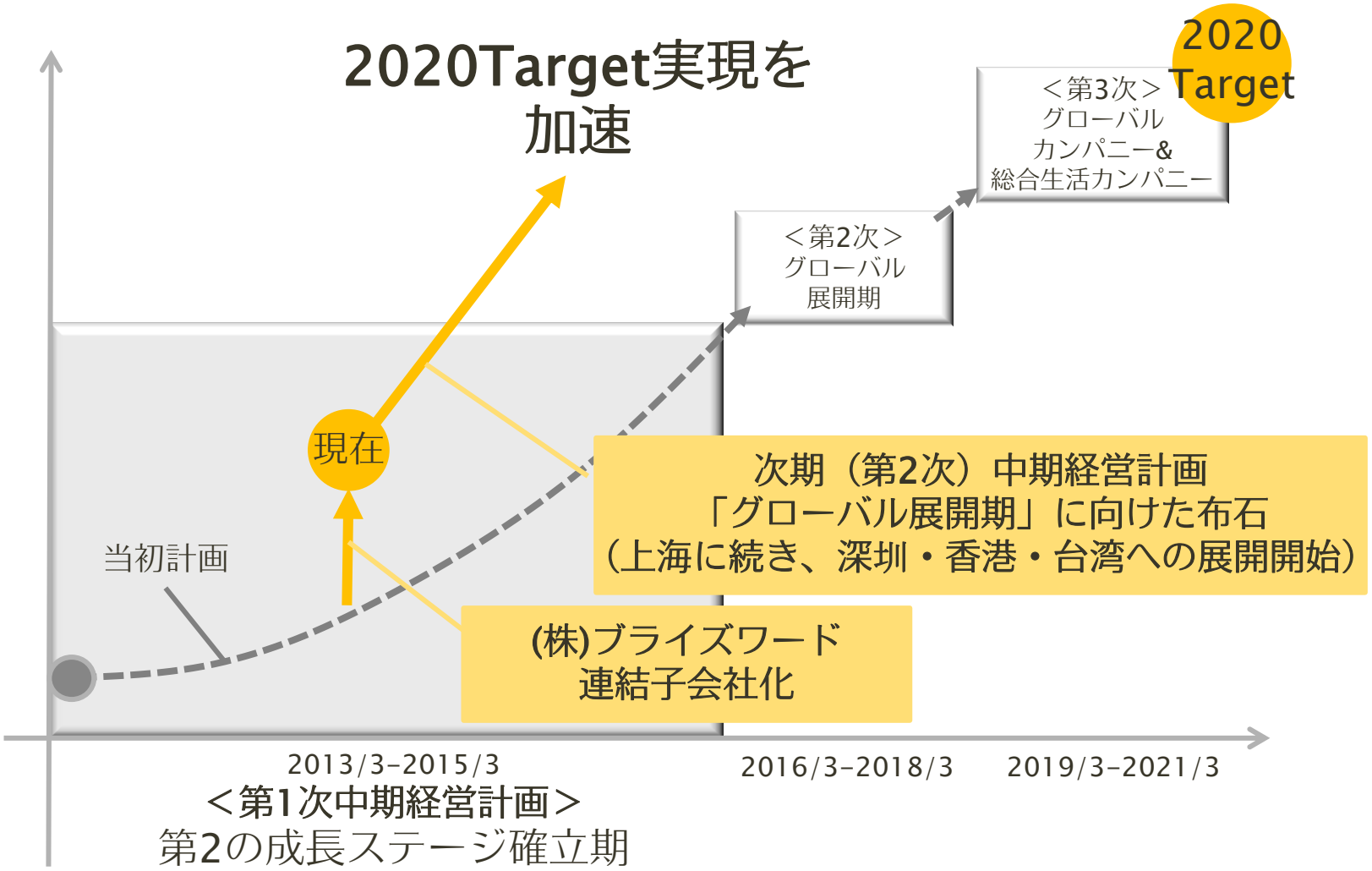
（単位:億円）	2011/3 実績	2012/3 実績	2013/3 期初計画	2013/3 実績	2015/3 計画
売上高	467	479	500	528	600
営業利益 (対売上高 営業利益率)	22.8 (4.9%)	22.1 (4.6%)	26.0 (5.2%)	28.3 (5.4%)	48 (8%)
当期 純利益	2.1	4.5	8.0	10.8	25
ROCE※	8.3%	8.7%	—	10.4%	18%
自己資本 比率	36.7%	38.4 %	—	38.2%	50%
有利子 負債	193	176	—	178	130

*ROCE（Return on Capital Employed）
＝EBITDA（営業利益＋減価償却費）÷投下資本（有利子負債＋純資産＋リース債務）

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ 2. 2014年3月期の位置づけ

中期経営計画達成を確固たるものとし、次期中計に向けた取り組みを開始



Ⅱ 3-1. 2014年3月期 重点施策

既存店の確実な伸長とBW社※の通年寄与
新規出店・提携の収益化及び収益構造改革の実施

＜153P 重点戦略＞

海外戦略の加速

ホテル婚礼受託事業の拡大

直営店舗の強化

強固な財務基盤の構築

＜重点施策＞

＜アジア婚礼プロデュース＞
深圳、香港、台湾、ASEANへの展開

＜海外・リゾートウェディング＞
ハワイの名門シェラトン・ワイキキ・ホテル内に新チャペルオープン（2013年6月オープン）

＜ホテル提携数の拡大＞
既存提携先の通年寄与
（ノボテル甲子園、ザ・クラウンパレス新阪急高知）
新規提携先の拡大

＜既存店強化＞
①エリア制の更なる強化　②戦略的リニューアル
③新システムの導入　④収益構造改革

＜M&A効果＞
BW社※通年寄与 及び シナジー効果

＜新店準備＞
153P 最終年度に向けた出店準備

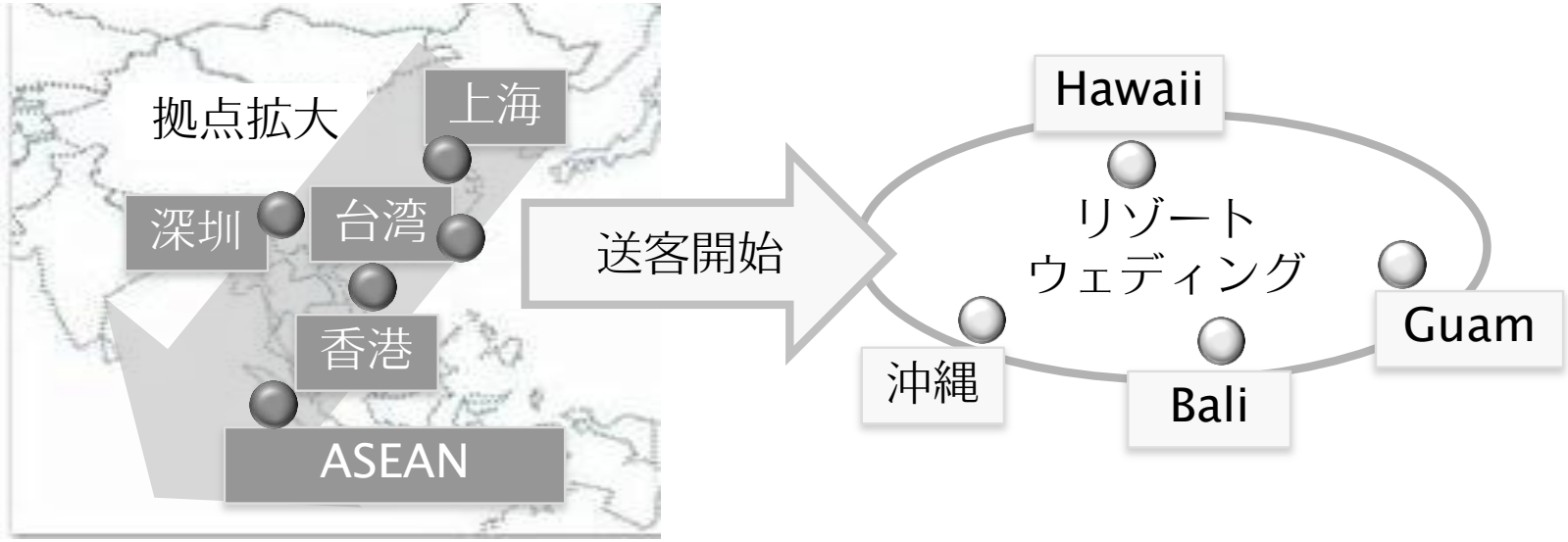
※BW社：（株）ブライズワード

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ 3-2.海外戦略の加速

アジア現地でのウェディング拠点拡大
リゾートウェディングへの送客も開始

＜アジア展開エリアの拡大＞



✓トレンド情報拠点「T&Gウェディング リサーチセンター」との連携によるクオリティ向上

✓販売拠点の拡大
上海に続き、深圳・香港・台湾・ASEANに現地法人設立

✓ 5つ星ホテルとの提携
- パーク ハイアット上海
- ザ・リッツ・カールトン上海-浦東
- フォーシーズンズホテル上海浦東
- コンラッド三亜海棠湾
- ダブルツリー・バイ・ヒルトン三亜海棠湾

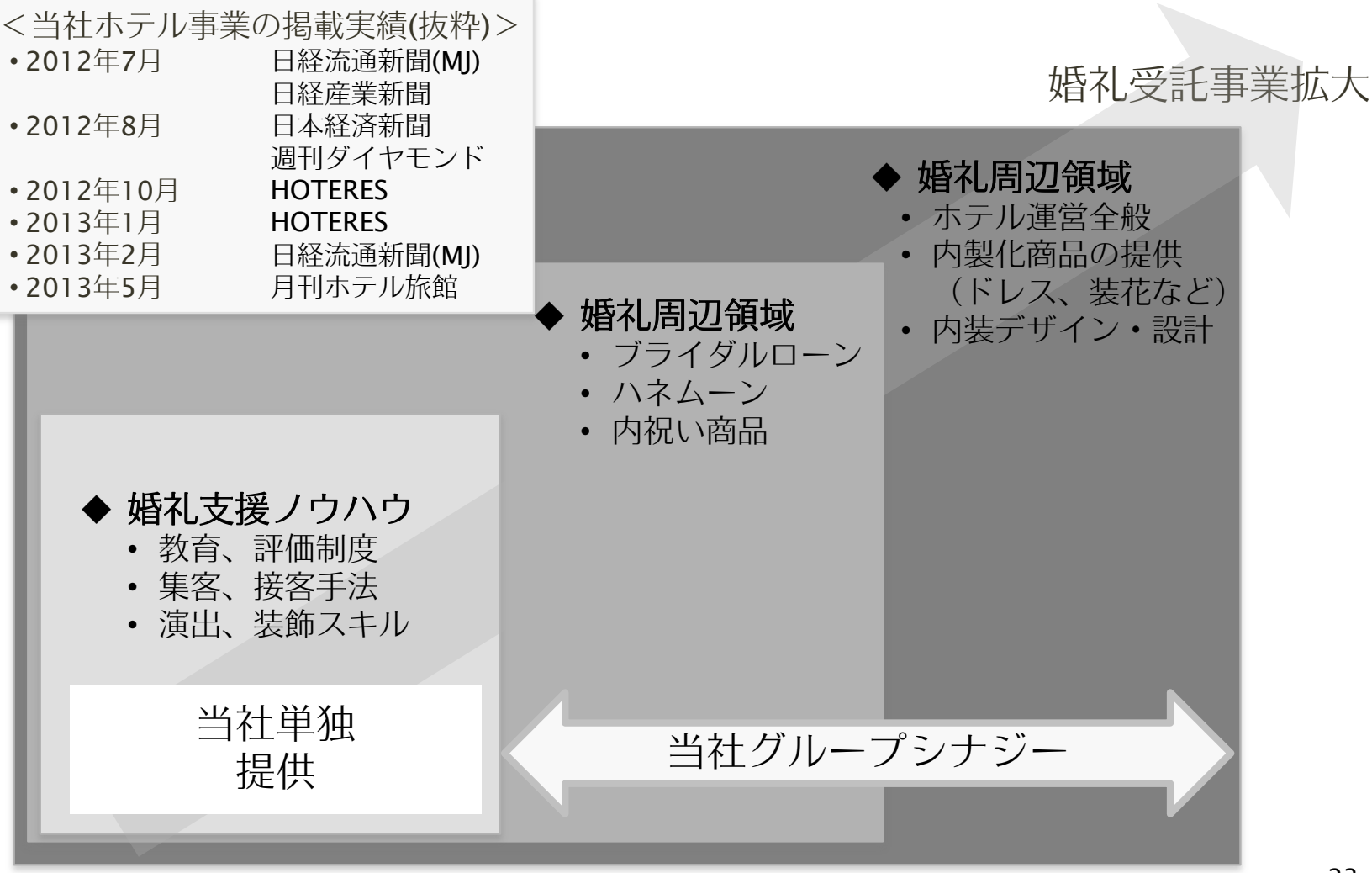
T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ 3-3.ホテル婚礼受託事業の拡大

グループシナジーにより、幅広い支援を実現
提携ホテル数を増やし、事業拡大を図る

＜当社ホテル事業の掲載実績(抜粋)＞

• 2012年7月	日経流通新聞(MJ)
	日経産業新聞
• 2012年8月	日本経済新聞
	週刊ダイヤモンド
• 2012年10月	HOTERES
• 2013年1月	HOTERES
• 2013年2月	日経流通新聞(MJ)
• 2013年5月	月刊ホテル旅館



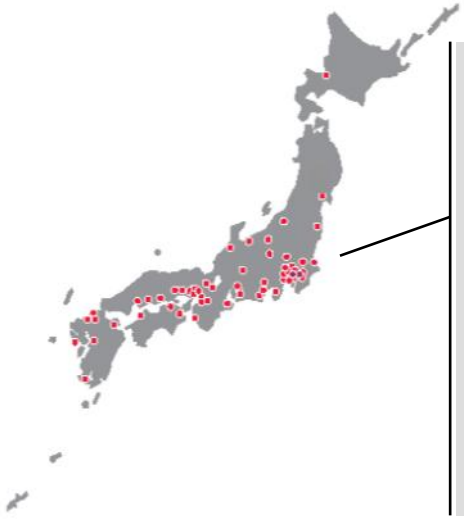
T&G TAKE and GIVE NEEDS

3-4. 直営店舗の強化

エリア戦略でのきめ細やかな施策展開に一定の成果
収益構造改革とインフラ構築で、更に企業体質を強化

エリア戦略の加速
①事業部へ強化、②戦略的リニューアル

◆ エリア戦略をより加速する施策の推進
- 2013年3月期よりエリア制を導入し、一定の成果。この効果を拡大するため「事業部」へと機能強化し、エリア戦略を加速。
- 業績拡大の伸び代がある店舗に対しては、エリア特性に合わせた戦略的リニューアルの重点投資を実施。
（2014年3月期 7～8店舗実施予定）



【5つのエリア事業部】
- ✓ 東日本事業部
  - 北海道、東北、信越、北関東、北陸エリア
- ✓ 関東事業部
  - 1都3県エリア
- ✓ 東海事業部
  - 東海エリア
- ✓ 関西事業部
  - 近畿エリア
- ✓ 西日本事業部
  - 四国、中国、九州エリア

企業体質の強化
③新システムの導入、④収益構造改革

◆ 企業体質の強化により収益性を向上
- 新システム導入。お客様への付加価値提供を強化。
- スケールメリット、グループシナジー効果により、原価構造、コスト構造の見直しに着手。





お客様に向き合う時間を創出し、
付加価値の提供を強化

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ 4-1. 2014年3月期 連結 通期業績計画

売上高580億、営業利益34億、当期純利益15億を計画
10%増収、営業利益20%、当期純利益38%増益

単位: 百万円	2012/3 通期実績	2013/3 通期実績 (A)	2014/3 通期計画 (B)	増減額 (B-A)	増減率 ((B-A)/A)
売上高	47,983	52,804	58,000	+5,195	+9.8%
営業利益	2,212	2,832	3,400	+567	+20.1%
経常利益	1,588	2,459	3,000	+540	+22.0%
当期純利益	453	1,086	1,500	+413	+38.0%

T&G TAKE and GIVE NEEDS

Ⅱ 4–2. 国内ウェディング事業　主要指標計画

直営店の取扱組数は既存店の伸長 及び BW社※1の通年寄与により10%増の計画

直営店		2013年3月期実績	2014年3月期計画
取扱組数（単位：組） T&G＋BW社		10,468	11,500
挙式披露宴単価 （単位：千円）	T&G+BW社	4,008 ※2	3,950

※1 BW社：（株）ブライズワード
※2 2013年3月期のBW社の実績は1–3月のみの連結となります。

T&G TAKE and GIVE NEEDS

III

Dividend Forecast FY Ending March 2014

2014年3月期配当予想

Ⅲ 1. 2014年3月期 配当予想について

2013年3月期と同水準の期末配当を予定

	1株当たりの配当金		
	中間配当金	期末配当金	年間配当金
2012/3	0円	100円	100円
2013/3	0円	120円 （予定）	120円 （予定）
2014/3 （予想）	0円	120円	120円

T&G TAKE and GIVE NEEDS

2. 株式分割及び単元株制度の採用

全国証券取引所の「行動計画」に基づき株式分割及び単元株制度を採用

- 株式分割
  - 分割方法　1株につき10株の割合
  - 基準日　2013年9月30日
  - 分割後の発行済株式総数　13,059,330株
  - （増加する株式数　11,753,397株）

- 単元株制度の採用
  - 単元株式数　100株
  - 効力発生日　2013年10月1日

Ⅲ 3. 自己株式の買取の実施

経営環境の変化に応じた機動的な資本政策を行うため
自己株式の買取を実施

・自己株式の買取
　取得し得る株式の総数　12,000株（上限）
　取得する株式価格の総額　　2億円（上限）
　取得期間　2013年5月13日～2013年6月21日

T&G TAKE and GIVE NEEDS

人の心を、人生を豊かにする

T&G TAKE and GIVE NEEDS